中国言語文化教育に関する研究

研究分野：中国語・日本語の比較研究
中国語教育と学習者の言語使用分析
中国古代文明と日中文化交流史の研究

キーワード：中国言語文学、中国語教育、日中文化交流

貢献できるSDGsの区分：

地域創造学部　公共政策学科　講師（特任）　高　芳

教員情報URL　https://sun.ac.jp/researchinfo/gaofang/

研究概要

音声言語学・教育言語学・歴史言語文化研究の三領域を軸とする総合的な中国語研究である。第一の柱は、中国語および日本語の音声・韻律体系の比較研究であり、語彙・文法構造における母音の弱化、疑問文の音響的特徴、音節長と意味解釈の関係などを、実験音声学の手法で明らかにしてきた。第二に、中国語の語用論や文法構造に関する研究を行い、とりわけ「給」構文や副詞「有点児」などに注目してその意味的運用を精査している。また、中国語を学ぶ日本人学習者の誤用傾向を分析し、初中級レベルの教材を複数執筆することで、教育現場への還元も行っている。第三に、中国古代の宗法制度や金文、陶器文字の分析を通じて、古代中国の制度的文化の再構築を試みるとともに、遣唐使や唐通事の言語教育活動を通じた日中文化交流の歴史的展開にも取り組んでいる。これらの複合的研究により、中国語という言語の構造と実践、そして東アジアにおけるその文化的伝播を多面的に解明することを目指している。

産学連携の可能性（アピールポイント）

観光施設の中国語応用及び中国人観光者に対する異文化の理解・対応方法

外部との連携実績等

長崎県教育委員会が主催した、高校中国語教師研修会の研修講師